

## 令和3年度 ニシン漁獲物調査速報(8)：厚田地区

1～3月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

3月17日に石狩湾漁協厚田地区に水揚げされたニシンの漁獲物調査を18日に実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。

### 【結果】

#### 1. 漁獲状況

3月17日の厚田地区では、「メス」、「オス特大」、「オス大」、「オス大中」の4銘柄が水揚げされました。

#### 2. 銘柄「メス」の結果：卵巣完熟率は100%

銘柄「メス」の標本68尾すべての卵巣は完熟状態で、中でも1尾は卵巣が若干萎んでおり、すでに産卵中と思われました。平均卵巣重量(最小～最大)は、91.3g(31.3～144.2g)で、平均値、最小値が前回よりも上昇しました。尾叉長は30cm台(図1)、体重330～379g台の個体が最も多く、尾叉長・体重とも前回より大型でした。内臓除去体重に対する卵巣重量の割合(GSI)の平均(最小～最大)は、35.5(15.8～54.0)でした(図2)。まさに産卵中の個体と、これから産卵する個体が混じっている状態と思われれます。

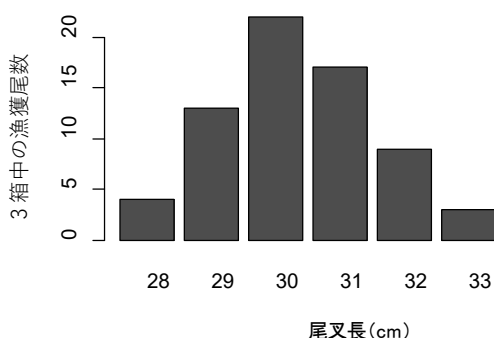


図1 銘柄「メス」の尾叉長組成

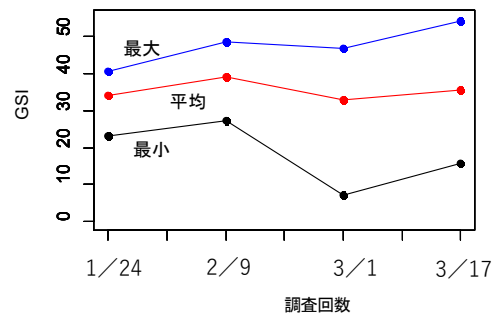


図2 メスのGSIの推移

#### 3. 銘柄「オス特大」の結果

銘柄「オス特大」の標本43尾のうち1尾は未熟のメスでしたが、残りは放精前もしくは放精中のオスでした。「特大」ですので、尾叉長は30～31cm台、体重330～379g台の大型個体で占められていました。

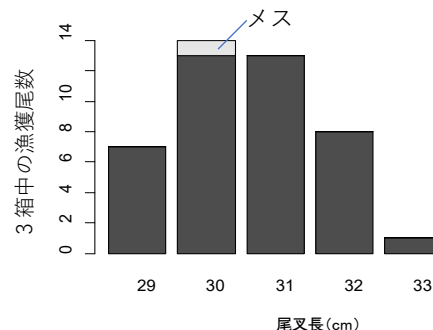


図3 銘柄「オス特大」の尾叉長組成

#### 3. 銘柄「オス大」の結果

銘柄「オス大」の標本52尾中、1尾は未熟の

メスでしたが、残りは放精前もしくは放精中のオスでした。尾叉長は29~30 cm 台、体重 280~329 g 台が多く、当然ですが「特大」と比べれば小型個体で占められていました。

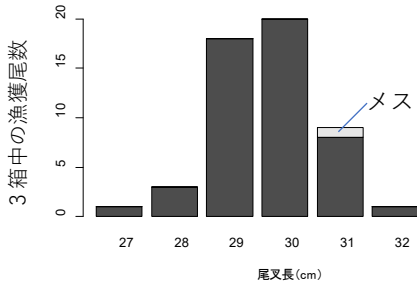


図3 銘柄「オス大」の尾叉長組成

#### 4. 銘柄「オス大中」の結果

銘柄「オス大中」の標本 69 尾のうち 5 尾は未熟~成熟状態の小型メスでしたが、残りは放精前もしくは放精中のオスでした。当然ですが、小型の個体が多く、尾叉長は 27 cm 台、体重 200~249 g 台が多い結果となりました。

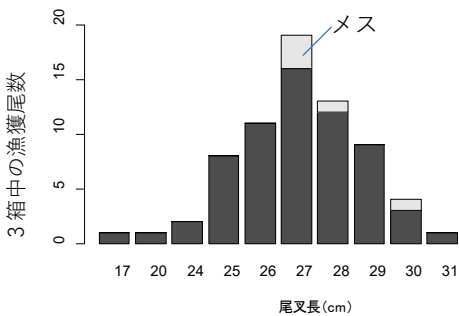


図3 銘柄「オス大中」の尾叉長組成

#### 5. 年齢組成 (4月13日追記)

「メス」は56%が4歳(5年魚、2017年級)で、4歳以上が全体の81%を占めていました。

「オス特大」も同様に、4歳が51%を占めており、5歳(6年魚、2016年級)も30%と高く、4歳以上が全体の98%を占めていました。「オス大」も4歳が44%と最も高かったのですが、3歳(4年魚、2018年級)も27%含まれました。

「オス大中」は2歳(3年魚、2019年級)が66%を占めていました。

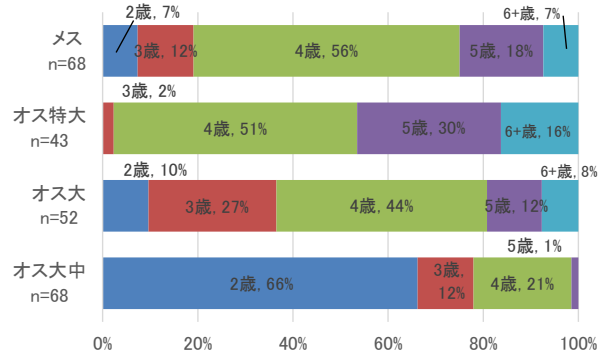


図5 銘柄ごとの年齢組成